飯田市

発行所
長野県飯田市公民館
編集人
飯田市公民館新聞委員会
印刷所 信州印刷KK
松本市巾上町353

初の移動市役所

もめた国保の運営

次回開催を市長やくそく

民主市政をモットーに合併して一年、新市建設の第一歩として、地区民の声を聞く、初の移動市役所が、山本地区は去る一月二十二日午後一時三十分より、新装の中学校屋内体操場で、伊賀良地区は同月二十三日、午後一時三十分より、伊賀良支所において開催された。合併後初めての移動市役所と有って、両地区とも押しかけた地区民で、会場は一っぱいになり、整理をする一こまもあって、盛会をきわめた。山本地区の特に注目された項目は、均一課税の問題であり、伊賀良地区は、国保運営問題が、議論のまとゝなり、細部の応答が有った。なお伊賀良地区の質問、意見具申は、四十数項目の提出が有ったが、時間的に見て無理な点から、提出者協議の結果二十項目に整理して、聞くことになったものである。

伊賀良地区の質問された項目は

①小中学校の施設並びに運営について
②下農伊賀良分校に関する請願結果について
③地区協議会について、広報の在り方について
④保育園設置促進について
⑤上水道設置促進について
⑥国民保険の運営について
⑦引揚者団体について
⑧均一課税の細部等について
⑨昭和三十二年度の農村対策について
⑩林業行政について
⑪災害の復旧工事及び農道工事施行に伴う地元との連絡について
⑫市役所の応待について
⑬農業技術指導の一元化について
⑭農産加工工場の誘置について
⑮小規模（一町歩以下）農家の対策及び潜在失業者の対策について
⑯田園都市の理想的発展について
⑰飯田市中央道について
⑱市役所吏員の人員整理について
⑲共同で所有する固定資産及び園芸について
⑳昭和二十八年度以前に町村道の改修工事に伴う潰地の分筆の登記について

であって、それぐの発言者によって質問、意見具申が行われた。

支所長の開会の辞について、松井市長は、

○移動市役所は、市の事を申上げ、皆様の御意見をお聞きして、よりよい新市を建設するためだ。

○合併後の予算編成の第一に、三十一年度は、教育施設の拡充に重点を置いて、松尾に建築中の緑ケ岡中学校、大久保校の新築工事、完成した山本中学校の屋内体操場、第一期工事完成の伊賀良中学校のグランド建設に主力をそゝいだ。

○道路の建設として、飯田市中央道、赤石林道建設、飯田中津川線、赤石資源の開発、工場誘置等、経済調査、技術調査を行なって、よりよい新市を建設したい。

○近く新市建設の大綱を、新市の区長、団体長の皆様に集っていただいて作りたい。

○伊那の発展は、南に向って発展するので、南の方面の道路網を考えている。

等の挨拶が行われた。

二重加入問題を早期解決せよ

続いて司会者より、項目が多いので、質問は一項目五分間を限度としての要望があって始められた。閉会の予定時間までにやっと半分がすむと云うような結果の為、時間的に見て、提出された項目が多い関係で、細かい質問は、応答に対してなかったが、初めての試みにしては、一応成功の感が見受けられたようであった。一般の声としては六項目位にして、相当深いところまで聞きたかったと、云う声も聞かれた。

次に質疑応答の、二、三をひろってみると、

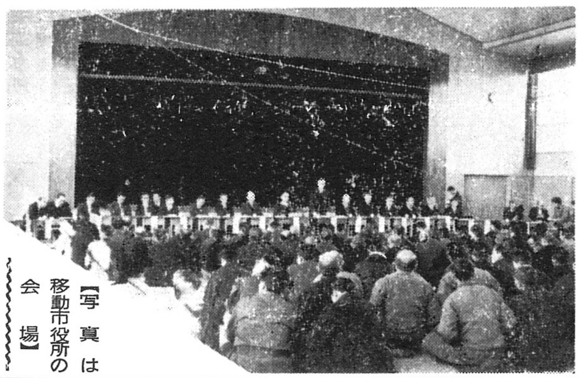
⑤の上水道について、下殿岡地区の婦人より、大井川の川水を飲料水にしている現在の悲惨な状況を説明、これに対し、水道部に命じて、全市水道と云うことで調査している。水道は伊賀良、松尾、竜丘とも関係し、数億の金がいるので、予算面や水利の問題等が有るので、良く研究して一日も早く実現に持っていきたい。

⑥の国保については、二重加入者の問題が大きく取り上げられ国保合併当初より、打切りを前提として発足したが、解決されていない。

これに対し、現在赤字にならずスムースに行っているので、二重加入をふくめて運営しているが、今後は研究していきたいと応答、これに対し発言者外より、スムースとは何事だ、我々が苦しい中から納税しているから、それを言えるのであって、二重加入問題を早く解決せよとの強い要望があり此の時、重大問題だから時間延長の動議があり、五分間延長をみとめて続行、発言者外より、一本化された医療制度が出来るようにしてほしいと要望、これに対し市長は、忍べるところは忍んでもらって、一日も早く一本化された線にもっていきたい、又でこぼこのないようにやっていきたいとの答弁あり、会場の波乱も静まり、次にうつった。

⑰中央道については、第一期工事として飯田より伊賀良までの六粁をやるように計画している中央道は水の手線から吾妻線と直結する案で進んで、只今其の測量を実施している。巾員は十一米以下では許可にならないから十一米の線で着工したい。中央道も見通しがいゝのでよろこんでいる。潰地の問題に対しては協力してほしい。

等五時間の長きに亘って、全項目の質疑応答を終り、市長より、地区の発展は、新市の発展であるから皆様の協力を強く要望、今後もこうした会を持ちたい旨を約して六時三十分散会した。



【写真は移動市役所の会場】

論説

末端市民の真の声を

中心施策的行政を心配している外まわりの山間市民が、今度地区毎に廻り舞台で開設されている移動市役所の魅力は実に大きいものである。と同時に以前にまして市に対する関心も増す事で、特に現在は相当注意を払って市の行政の一挙一動を見守っている。

三十三年度予算のこと。それにつれて問題の不均一課税の撤廃の時期。これらのすべてが我々市民に直接響いてくるからである。

市の行政は議員と市長がやるものか?。と云う考え方の生れる幾多の疑問、市長の考え議員の云う事課長、支所長等の云う事がそれぞれの立場で、適当に解答される場合もあるとしたら我々は一体信用する目標を失うと同時に我々市民を馬鹿にした行動だと感ずる。」今開かれている移動市役所はあらゆる点を充分理解するには適当だと解釈される。第一これだけ一場に役者が顔を揃える事は先づないだろうと感心する。それだけに同じ質問に対する解答も全面的に信頼し得る。

質問も各自の田や水路の事も聞きたいにしても、もっと大きな見地からあらゆる点についてしっかり聞いておく事が大切で、理事者の一方的な説明に終ってしまはないよう多いに利用する事だと思う。一廻りした後、いつ又開設されるか知らないが、大事の前には少しでも多くの理解者を得るためにも末端市民の真の声をじかに知るためにも、移動市役所は度々開く事を望む者が多い。それにはいつも豊富な中味を用意して来て下さる事も希望条件の一つと云える。

▼

いよいよ三十三年度予算が表面化されて各課の要求案もえらくふくらんだようである。結局落着く所は昨年並の四億台と云われているが、これも収入源のいかんによって左右される事は当然である。今度の予算と一番難関は不均一課税をどこに追いつめるか、又不均一の撤廃かが理事者と議員の腕の上げおろしによって大きく動かされるとみられる訳で、以前から事ある毎に力説する市理事者の不均一課税の不合理は移動市役所等で相当認識も増したとは云え、均一化されて当然増税される地区もあるとみられゝば問題なしで切替えは無理と云う考えをもつ人が多いだろう。課税は直接各人に響いて来るだけに、だれも多くとられたくないと思うのが人情である。

しかし道理の通った、無理のない課税と市民が認識すれば、目標とする「一日も早くすっきりした飯田市の建設目標」に対する考えは同じであるから、無闇に反対や、むちゃは云わない。ことによるとむしろ意外な程協力者が多いかも知れない。

（T）

御誂の
高級紳士服は
春藤洋服商会
飯田市元善寺光駅前
電話 一四二四番
二五八五番

短信

▼伊賀良

◎多年に亘って問題になっていた山林分収率解消問題が、伊賀良地区四市議による、調停案によって四区、二区側と協議話し合いの結果、やっと円満に解決出来、新らしい山林運営にふみ出すことになり、終止符を打った。なお地区では、此の問題に骨を折った人々を招き、去る一月十三日中学校において、地区民と共に調印式と祝賀式を行った。

◎伊賀良有線放送協会では、正月以来、テスト放送を行って来たが、去る一月二十七日より、本格的な放送に入り、番号表と放送番組を、加入者に配布した。なお当日は、有線放送開通を祝して、協会役員のお祝の言葉が暁の加入者宅に贈られた。

▼座光寺

◎上野に出来た廿六戸の市営住宅はすでに住込みを終ったが、部落名を何とするか研究中であったが、入居者が集って考えた結果「上野新町」と名命した。これにより座光寺地区にも新しい部落名がたん生した。

▼龍丘

◎竜丘酪農組合青年部では、去る一月二十五日組合内酪農家のサイレージ酸度検定を実施した。これは冬期間の飼料を確保し生産費の引下げを行い、酪農経営安定をモットーにした新事業であって、牛体に良質なサイレージを給与するために適度の酸度が必要なことを酪農家が認識すると同時にその技術を研究するものである。

順次均一化したい

固定資産税の 評価の統一を計る

山本地区では、注目の均一課税問題に対し、相当強い関心が持たれたが、税率に開きがあり、すぐはむずかしいとの答弁がされた。

市長 課税はどうしても均一課税が望ましい。投資的経費を全部（各地区別）で行っていたんでは効果がない。均一課税にして市全体の力で重点的に一つの事をすれば大きな効果があがる。タテ割で重点施策として皆んなの力で行うのがよい。一挙に出来ることではないので今資料について研究中である。研究の結果皆んなの協力によって均一課税へもって行きたい。

栗崎税務課長 固定資産税は不均一支出は考えるべきではない。均一にするには評価の統一を計らねばならないが、統一はあくまで年内にやりたい。市民税はどこまでも均一課税へもって行くべきだ。各地区別の税率に相当の開きがあるため三十三年度は八地区八様の課税方式が予定されるので三十五年度までに何らかの段階をもうけて均一化へもって行きたい。評価の統一は今年のうちに実施するため今事務局で準備を進めている。実施の時期は即答しかねる。均一課税は三十三年度から実施したいが、各地区別の税率は、飯田四・二、座光寺四・〇、松尾三・〇、伊賀良三・七、竜丘三・六、下久堅二・九、三穂二・七、山本二・九と所得割平均税率に大きな開きがあるため、一度では無理がある。何んとか二、三の段階をもうけて課税、順次均一化へもって行きたい。来年度予定される自転車税の廃止により、税収に穴の出来る分は平衡交付税と、煙草消費税率引上げによる自然増収とにより埋めたい。市内の現行課税方式は三本立で、第二課税方式単純累進をとっているのが飯田、第二課税方式超過累進は座光寺、松尾、伊賀良、第三課税方式超過累進は下久堅、竜丘三穂、山本となっている。33年度の課税方式は、第二方式の但書へもって行く。

助役 これは合併前からの中心問題で合併への条件となって議論を喚起していたが、不均一課税ではどうしても、一家まとまったが、家族の持分がそれぐに違うのではまずいので、均一課税均一支出は好ましい。課税当局が段階を設けて課税するとすれば、どういう段階をもうけたらよいか今研究中である段階をもうけた場合は不均一課税にして均一支出となる。

伊賀良中運動場

一部完成で年をこす

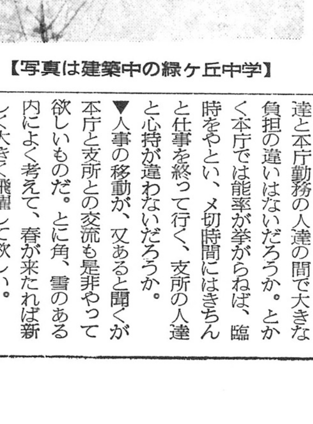
昨年六月二十八日起工、総工費九百万円で第一期工事を、勝間田建設の手によって、年内完成を目標に、工事を急いでいた、伊賀良中学校の運動場も、十一月一日第一期工事を完了、中学校、村民体育大会が、新グランドで開催された。引続き第二期工事のスタンドと、バックネットの工事も進められて来たが、バックネットは年末に完成した。又スタンドは三段まで出来た処で、冬期のため一時中止となった。新年の工事は冬解を待って、始められることになっている。此の工事の完了は、三月末日までには完成することになっている。なおプールも次期工事として、出来上ることになっているが、色々な面で、おくれるもようである。此のグランドが完成すれば、伊那谷有数のグランドとして、お目見得することになっている。

緑ケ丘中学校 工事進む

松尾毛賀地籍に建設中の緑ケ丘統合中学は今吉川建設に依り、三十二年予算の工事が進行している。これは以前にも紙面にて報導してあるが、松尾中、竜丘中、下久堅中との三校の統合校である。統合校の建築計画は、一般校舎の一、六八三坪、体育館三二二坪、合計一、九九五坪であって、昭和三十二年度予算の新築坪数は（現在工事中）一般校舎三七五坪鉄筋三階建である。内訳としては

普通教室	七室	一三三坪
特別教室	二	七五
管理諸室	四	三九
便所	四	二二
階段室	三	二六
廊下		八〇

となっている。

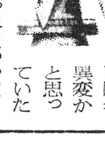


【写真は建築中の緑ケ丘中学】

農青幹部研修会

都市農協青年部幹部合同研修会が二月初旬、飯田市三宜亭において開催されることになった。当日は「地上」の編集者と、中央より講師二名が来飯、盛会が予想される。

風車



▼暖冬異変かと思っていたら寒くなって来た。冬はやっぱり寒い。寒い時には寒く、暖かい時には暖たくなければ、人間には都合が良いかも知れぬが、自然の節理が立たぬ。

▼春が来たと早合点して、梨や桑の芽が動きだしたら大変だ。又発芽時期や開花時期が早くなって晩霜の被害を蒙むるかも知れないからだ。

▼何事も自然の力だが、人間社会は自分で外界の様子を見極めて進むが良い。今度問題になっている不均一課税の良し悪しは別として冬の内に春が来たと、早合点して飯田市の折角の大合併に晩霜の被害をかぶせたくない。暖かい春の見極めを望んでやまない。

▼移動市役所なるものをして市民の意見を聞いて歩き、末端の問題を一寸でも政治面に反映しようとする心意気は嬉しいが、そこに表れた意見が本当の末端の声でないことを自覚しても欲しい。

▼合併で新市制を喜んだのは大勢いるが、市役所の職員もその一人かも知れない。（中には反対の人も居るだろうが）、職員組合は強化されるし、ボーナスの要求は強くなるし、残業はなくなるし…。

▼残業については、支所勤務の人達と本庁勤務の人達の間で大きな負担の違いはないだろうか。とかく本庁では能率が挙がらねば、臨時をやとい、〆切時間にはきちんと仕事を終って行く、支所の人達と心持が違わないだろうか。

▼人事の移動が、又あると聞くが本庁と支所との交流も是非やって欲しいものだ。とに角、雪のある内によく考えて、春が来たれば新しく大きく飛躍して欲しい。

（R）

農民の自主的生産意欲結ぶ
新農村建設計画

◇…昭和三十一年四月六日、閣議決定に基き「新農山漁村建設総合…◇
◇…対策要綱」を制定し盛り上らんとする農民の自主的な総意によ…◇
◇…り農村振興計画の樹立、各事業を総合的に推進することにより…◇
◇…農業経営の安定と生活水準の向上を計るのがその主なる目的で…◇
◇…ある。政府は三十一年度を基盤とし五ケ年計画により遂次その…◇
◇…実施に進むわけである。…◇
◇…　この計画は農業経営上の条件や社会的、経済的条件を共通す…◇
◇…る地域を一地区として振興計画を樹立するのであり当地区も昨…◇
◇…年十月松尾、川路とともに龍西中部地域として予備計画地域に…◇
◇…指定された。…◇

専門部会を結成
―団体代表者を以て研究

当地区出身の市議、農委、農委補助員、財産区正副議長、各区の区長、四HC、青年会、婦人会、壮年団、公民館、酪農組合、野菜煙草、こんにゃく、緬山羊、養豚の各組合の代表者を以て結成し、一月二十四日の委員会に於て全委員を五部門、即ち畜産、養蚕、園芸耕種、土地、生活文化に配属しそれ〴〵の部門に於て研究した。

その主なる事項を拾ってみると、

一、畜産部門
1、和牛の肥育共同施設（五割以内）
イ、牛の繋留所
ロ、牛衡器
ハ、サイロ型枠
ニ、サイレージカッター
2、自給養豚共同施設「三割以内」
種豚の購入
種牡豚　一頭
種牝豚　一〇頭
3、飼料自給促進施設
展示圃及畦畔牧草の改良

二、養蚕部門
1、稚蚕共同桑園の適地集団化並に自営桑園の拡充を図る。
五ケ所（三町歩）
2、稚蚕共同飼育所の設備拡充を図る。
（催青室を含む建坪五〇坪、動力ザ桑機一台）
3、繭集荷場の設置
4、病虫害防除用動噴設置
5、桑園改良造成「五〇町歩改植」

三、園芸、耕種部門
1、耕種培養奨励施設「土壌調査」
2、園地の集団化（果実選果場一棟四〇坪設置）
3、青果市場（供繭受入場、こんにゃく種子の共同貯蔵庫併設）設置
4、病虫害共同防除施設
5、肥料共同配合機購入
6、葉たばこ耕作地の集団化

四、土地部門
1、土地改良事業
2、交換分合

五、生活文化部門
1、水道の設置（長野県、駄科）
2、共同洗濯所設置
3、台所改善
4、便所改善
5、太陽熱利用風呂設置
6、土壌調査施設一式

計画樹立に当っては一月下旬、各部落懇談会により意見を聞き、それを参考に樹立が進められているわけである。

問題は国道通過ケ所

各部落とも共通的な関心事である豊飯国道の通過ケ所の問題があり、まだその決定がなされていないので、この計画樹立の阻害となるのではないかと心配されている。

◇果樹冬期剪定始める◇

助成率3~5割
望ましい自力振興

事業実施助成として交付される率もその事業内容により異っている。即ち一般助成と特別助成とに分れており、一般助成は従来通りであるが特別助成の内容を見ると

1、土地条件の整備については三割以内。
2、共同利用施設については五割以内。

と云うことであり、一地域に対し二年（最初の二年）に年平均二〇〇万円位が予定されている。この使途計画については三地区合同の充分なる協議の上樹立されることになるわけである。

この新農村建設計画は、単なる助成獲得がその目的ではなく、あくまでも自力振興を基礎にして全地区農民の総意の上に築き上げなくてはならない。

豚養組合活動始る

十二月十日農協に於て養豚組合総会を開催、農協常務、市役所木下指導係長より竜丘地区養豚が郡並市内に於て松尾に次ぐ飼育頭数に達し地区の産業として重要な地位をしめる現在、今後の発展のため組合誕生の意義を祝う挨拶があり続いて役員の選出を行い組合長に中平要、副北沢小太郎、会計中島正三、理事十三名、幹事二名を決めた。

この組合は農業協同組合と協力して当地区に於ける農家の畜産に必要な事業を行うものである。

尚当組合の主な目標は、優良豚の改良増殖、飼料技術の改善、養豚資金融資、共販体制の確立等である。

事業計画

❶優良種豚の導入＝昭和三十三年度の新農村計画にて導入したく申請の予定。
❷先進地視察＝一月二十一日、松尾、豊丘、農事試験場畜産部を組合員二十五名が参加して実施
❸飼料の斡旋＝農協と提けいして豚配、澱粉粕等の申込を取る。今後市価を研究して随時飼料の対策を進める。
❹講演会の開催＝二月十一日埼玉県種畜場の笹崎先生を招いて農協にて養豚講演会を開催する。
❺その他目標達成のための諸事業を行う。

熱心にきく部落の人たち
【上川路部落懇談会】

講習会に出席して
上川路婦人文集「ぎんなん」より抜粋

日頃仕事にのみ夢中で暮してきた私、この頃婦人会やPTAに出席して、もっともっと勉強しなくてはいけないと痛切に感じます。年寄りだからと引込まないで、色々の会合には、皆さんもできるだけ出席しようではありませんか。

先日開かれた小田静枝先生の栄養料理講習会の前日のこと、私は里の近所の親戚へ御祝儀に招かれて行きました。

八十才になる母親が、私と一晩ゆっくり話す心算で、楽しみにして待っていた。ところが私は今晩は泊る訳にはいかないからと帰って来ました。帰っては来たものの、ものたりない気持でバスを見送る老母の姿が目に浮んで、あんなに待っていてくれたのに、悪い事をしたと心苦しい気持で、翌日講習会に出掛けました。

誠実と愛を持って努力するといったような先生の体験談を伺い、同じ人生も考えようによれば、こんなに生甲斐のある生活が出来るのにと、常に愚痴を言ったり悲観し勝ちな私にとって、生きる悦びを感じ大きな収穫を得ました。ああよかった、母との話はいつでもできるのに、小田先生のお話はこの際でなければ伺う事が出来ないのにと思いました。

お話しを伺いながらも、他村からも大勢お話を聞きに来ているのに、私の部落の方々の出席が少いので、とても悲しく思いました。出席が少いと云う事は何が原因しているのでしょうか。忙しいのか通知が徹底していないのか、何れにせよ勿体ない事だと思いました。僅か二、三時間の事ですから、ああいう名士のお話だけは、聞きに行きたいものだと思いました。

会合に出席するという事は、自分が出掛けようとする気持と、お家の方々の理解さえあれば、相当までは出られるものではないでしょうか。忙しいから片付けてしまわないで、出席してそれから希望を持って働けば、その位の取返えしは出来ると思います。

明るい家庭社会を作り、如何に貴い日を送るべきかにつけ、主婦の責任は重大だと思います。家族のお互が理解し合って、毎日を楽しく生活して行く事が出来たならどんなにか幸福でしょう。役員の婦人会にならないように、お互にさそいあって、力を合せて共に気軽に出られ易いように努めてまいりましょう。

随想リレー

THK雑感
長ノ原　前沢五雄
（60回）

二三番サーン、二三番サーン、ハア来たなと思って用をたしていると、寝床でまたりまたりして居た子供がとび出して、モシモシ、ハイ居ります。お父チャ、電話早く早くとせきたてられながら、お取り刀ではないが、ナタをたち切って腹帯もそこそこに受話機を取ると、**モシモシ**前沢さんですか、ハアそうですか……有難う御座居ました、御免なさいませ。ガチャン。

支所からの掲示のことで近所のおばさんから聞いて来たのである。ナーンだと思ったが、今迄はわからなければ聞きに行くのも面倒といって、解らないまゝで通してしまったのが、家に居て解るのですから、なんと都合の良くなったものだ。

子供達はなんだか家の中がにぎやかになった気がして、常に電話があると注意しているのか呼出しがあると、仕事など言い付けてなかなかしないが、すぐとんで行って電話を受けるのが子供の仕事になってしまった。

宿題やっちゃった？あのとこはどうだったなと云うようなことで子供の利用はなかなか多い。大人が急用で話をしたいと思っても、次から次と話中で、放送時間まぎわになると受話機をはずして話をしている中に割込んで、何をつまらんお話して居るのだとおこっているのも面白い。

その大人の話も以前は道の悪いとこを出掛けて行って、二、三分で用事が足りるものを、マアーお寄りて丁度良いとこ、お茶でも一杯、家でも今飲まっとしていたとこだと云われて、寄り込んで漬物などでガブガブ飲んで一、二時間位は過す風習は、THKの交換台が忙しければ忙しいだけ見られなくなるが、交換嬢は誠に御苦労様のことで、このういた時間はお互に生活の中に生かしたいものだ。

そこで公民館活動も忙しい忙しいで相手に御苦様のことが重なるがお願い申します。

国会も放送を通じて聞くところによると、予算、解散となかなか忙しい様だ。解散ともなれば選挙で猶忙しい。候補者の皆様も連日とび廻ることは莫大な費用がかゝることだ。それにまきこまれて我々選挙民も個人演説会だ、街頭演説となかなか落付かないものだが有線を利用して各候補者の録音放送でもすることが出来れば、今迄選挙に無関心であった人も居ながらにして聞けることは。選挙運動として効果のあるものは他にはないだろう。一落二当と言う言葉は過去のことで「公明選挙は有線放送から」と云う標語も生れることは、他町村も施設取付けに熱意を示していることを聞きますので近いうちと思われる。一日も早く実現を希望して。二三番サーン、原稿を早く持って来て下さい。と掛ってこないうちにやめます。

次回のバトンを上川路杉本金吾氏に渡します。

御詫び　先回のリレーで林十宣とあるのは林宣子さんの誤りでありますのでここに訂正致します。

各種団体役員決る

青年会
会長、牧島亮夫、副、牧内利郎、林幸枝、総務、今村明人、今村律子、文化、塩沢義男、原房子、社会、林隆治、前沢春美、厚生、下平将之、鈴木英美子、産業、下平衛、吉川節子、編集、中島徳治、熊谷京子、図書、小笠原昭市、下平錦子、家政、下平礼子、原美那子、駄科支会長、中平悦雄、桐林下平文一、長ノ原、小林健司、上川路、増田義和、時又、原広男、久保田節子、代議員、牧島亮夫、今村明人、笹岡久世。

◎市連青執行委員、原寛、久保田節子、代議員、牧島亮夫、今村明人、笹岡久世。

壮年団
団長、木下純夫、副、小林郁夫、駄科支会長、木下純夫、役員、中平博、鈴木誠一、伊東保直、下平翠、長ノ原支会長、小林郁夫、役員、小林三郎、時又支会長、今村栄一、役員、下田薫、牧内一雄、下平芳男、小木曽昭雄、桐村支会長、吉川隆、役員、中島孝治、中田甲子男、熊谷清美、塩沢秋男。

婦人会
会長、代田きそ、副、木下きよ、伊藤菊江、会計、吉川とみゑ、書記、今村あい、駄科支会長、鈴木貞子、副、中平さと、伊東たね、桐村支会長、伊坪よし、副、原しなゑ、前島かね子、時又支会長、中島千代子、副、伊原よし子、橋爪春美、上川路支会長、塚平ひろ副、笹岡きみ、長ノ原支会長、今村とき、副、小林恵美子。

醤油工場の補強決る

竜丘農協の醸造部は年々発展の段階に有るが、中でも醤油製造に於ては原料で年間五〇石の生産高を示す様になった。品質も向上し昨年と一昨年と二年連続して品評会に入賞するにいたった。

そこで今年度は益々利用が多くなるため工場を一部増築、補強をし特に衛生設備を整え、利用者に答える様二月三日の理事会で決まり早急に着工する事になった。

尚理事会に於てパン工場廃止問題と新農村建設計画にともなって時又支所繭受入所設置等について協議した。

笹岡さん姉妹の善行

年末助け合い運動の期間中、上川路笹岡秀郎さんの二女信子さん中学一年、三女明子さん小学六年の二人は、「私達の読んだ本ですが、困っておられるお友達にさしあげて下さい」と手紙をそえ一年——六年迄の五十冊の本が送られてきましたので民生委員会では地区内の要保護家庭に贈り感謝されました。

戸籍の窓

十二月分

◎【出生】

子の氏名	性別	父の名	部落名
下平博文	男	文平	時又
大久保礼子	女	治美	駄科
伊原吉彦	男	靖郎	時又
下平文子	女	毅	桐林
井口英雄	男	正三	上川路
青島聖次	男	進	時又
下田寿子	女	美暢	時又
中島　茂	男	勘治	駄科

◎【婚姻】

前沢時夫	時又
高木嘉子	千葉県市川市市川
林　照夫	駄科
川田　幸子	名古屋市中区
林　四郎	桐林
大沢三八子	高森町大字山吹
林　知法	桐林
塩沢イネ子	毛賀
小林　肇	長野原
久保田好子	上郷村大字別府
原　ふさ	桐林
関島　晴夫	東京都墨田区
河原　順子	時又
山田　正明	岐阜県大井町
市瀬　扶桑	駄科
熊谷ミスヱ	名古屋市熱田
塩沢八重子	桐林
牧内　春一	川路村
館野美代子	長野原
松村　康尾	鼎町

◎【死亡】

斉藤喜八	七二才	男	長野原
松永民弥	七八〃	〃	駄科
市瀬勇作	八二〃	〃	駄科
下平一男	三一〃	〃	桐林

一月分

◎【出生】

子の氏名	性別	父の名	部落名
田中　治	男	昭年	上川路
森田のり子	女	繁一	駄科
下井田和子	女	竜夫	長野原
笹岡竜夫	男	専吉	上川路
下平祐子	女	長一	駄科
林恵美子	女	弘	桐林
小林秀子	女	和一	上川路
小笠原敬	男	正栄	駄科
下田由紀	女	兼介	時又
仲田幸男	男	幸	駄科

◎【婚姻】

下田　栄子	時又ヨリ
横山　武美	東京都墨田区寺島へ
原　晴枝	時又ヨリ
水谷　隆	三重県津市上浜町へ
下平信人	駄科ヨリ
伊藤香美	上伊那郡西春近村へ
松村　範行	駄科へ
仲田シズ子	喬木村ヨリ
今村ふさ	時又ヨリ
松尾義信	竜江村へ
前沢　幸子	長野原ヨリ
福沢　正	鼎町へ
仲田　幸	駄科へ
細田千寿子	馬場町ヨリ

◎【死亡】

中島宗治	七二才	男	桐林
木下昌子	〇才	女	駄科
下平よしへ	九七才	女	桐林
仲田幸男	〇才	男	駄科

御免なんしよ

▼有線放送開通直後の面白半分の電話利用の数もこの頃減りウグイス嬢の声も不自由なしに聞ける様になったことは大いに結構なことである。然し生まれて間もない為まだまだ改善されなくてはならない点が、利用者、運営の面にも多い。

▼利用者の中には共同精神にかけて他人の迷惑をかえりみない人が多いのではないか。有線放送は個人のものではない。

▼運営の面を見るとその中心たる強力なる運営委員会が必要ではなかろうか、電話の交換と、使い古したレコードで始る「お知らせ」ばかりが有線放送の使命ではないと思う。良き運営があってこそ有線を作って良かった、そして有線の本来の使命が達成出来るのではないか。

▲今号は新しい部員によって編集致しました。▲十一時、外には雪が降り初めた。▲積った雪の中でコタツにあたり乍ら新農村の話や公民館活動の話が出るでしょう。そんな話の中から出た〝私達の声〟を投稿して下さい

〆切は二月二八日